

ふるさと探訪

第54回 明河（みょうが）のムクの木



国道11号桜三里（6^{ゾウ}）支所だより」参照）の途中にある落合橋信号から県道落合久万線に入り、鞍瀬川沿いに車を走らせると、やがて保井野の集落に着きます。この集落のはずれにある小さな観音堂の境内には、樹齢三百年を超えるムクの木が、根元の大き



▲ 新たな葉を茂らせ再生に向けて

な岩を抱きかかえるようにして立っています。

かつては根周り約9^メ・樹高25^メの威容を誇り、ムクの木としては全国でも最大級のものでしたが、平成16年に当地方を襲った台風により、幹が縦方向に裂け、古木の大半は倒れてしまいました。幸いにも倒木によるお堂の損壊は避けられました。往年の樹勢を偲ばせる大木が今でも境内に横たわっており、そして静かに苔むしています。

残された古株からは新たな枝葉が広がり、たくましい生命力を見せています。多くの人が訪れていたという往時の



存在感をこの木が取り戻すよう、ふるさとの環境を守り続けなければなりません。

■ 場所 丹原町明河保井野
■ 駐車場 なし

